JMA 一般社団法人日本能率協会

大阪開催　東京開催　名古屋開催

自社のDX・AXが失敗しないために「真のDX・AX 戦略」を学ぶ

経営幹部のための DX・AX戦略実践力 養成コース 2日間



対　象
- 経営者、役員、事業部長など、全社・事業の変革を主導する経営幹部
- 経営企画、事業企画、DX・AX 推進を統括する責任者
- AI 活用の投資判断、業務改革、組織・人材の変革を担う方

■開催日時

大阪開催　2027年 3月18日㈭～19日㈮
東京開催　2027年7月15日㈭～16日㈮
東京開催　2027年11月11日㈭～12日㈮
名古屋開催　2028年2月 9日㈭～10日㈮

［時 間］2日間とも 10:00～17:00

■会　　場

大阪開催　日本能率協会 研修室（大阪市北区梅田）
東京開催　日本能率協会 研修室（東京都港区芝公園）
名古屋開催　日本能率協会 中部事務所（JR 名古屋駅直結）

■参 加 料

法人会員　126,500円／1名（税込）
会 員 外　149,600円／1名（税込）

ねらい　AIへの投資を、実証実験や一部業務の効率化で終わらせず、顧客価値の向上と収益の拡大につなげる。実現には、経営者が変革の目的を定め、事業・組織・人材を一体で動かすことが欠かせません。生成AI、AIエージェント、フィジカルAIの進展は、仕事の進め方だけでなく、競争の条件や事業の成り立ちを変えています。いま経営に求められるのは、技術の可能性を見極め、自社の強みを生かす成長の選択へ結び付ける判断力です。

本研修は、日本企業のAI活用・DXを阻む顧客起点の不足、外部依存、技術人材と事業理解の分断、組織文化の課題を捉え直します。企業事例と自社の診断から、何を変え、どの価値を生み、どこに経営資源を集中するかを具体化します。失敗要因の一つである「稚拙なイノベーションマネジメント」への対応として、事業の検証段階に応じた証拠と指標を学び、投資・継続・修正・停止を判断する演習に取り組みます。経営の支援条件を明確にし、不確実な事業を育てる判断力を養います。

受講後は、自社の優先課題と戦略の方向性、成果を確かめる評価の視点、AIと人の役割分担を整理し、担当・期限を定めた行動計画を持ち帰ります。現場任せや導入ありきの議論を改め、経営と現場が共通の目的の下で挑戦し、学びを次の判断に生かす対話と実行の土台を築きます。DX・AXを自社の持続的な競争力へ育てるために、経営者が果たす役割と、着手すべき一歩を見出す研修です。

■講師（敬称略）

中谷英雄　株式会社 ピーエム・アラインメント 取締役

日本ユニシス（現 BIPROGY）にてシステムエンジニア（SE）として就職。エアラインの担当SEとして企画・開発・保守に従事。その後三井信託銀行（現三井住友信託銀行）にてシステム企画、大規模プロジェクトマネジャーを経歴。その後、（株）ピーエム・アラインメントに所属し、10年間、金融ITプロジェクトのPMO（プロジェクトマネジメントオフィス）支援に従事。その後１０年間は、大学院でデザインマネジメントを学び、新事業創出、デザインマネジメント、DX変革の３つの観点で、企業の変革支援を実施中。また、主に大手IT企業、IT利用企業システム部門に対して過去２０年以上の講師・セミナー実績を有す。



講 義、
企業事例研究、
個人演習、
チーム共有を
組み合わせて
進行します

JMA 経営革新を推進する 一般社団法人日本能率協会
経営・人材革新センター　ＤＸ推進セミナー事務局
E-mail：dx@jma.or.jp　TEL：06-4797-2050（関西事務所内）

●申込・セミナー詳細は
JMA151979　検索

■プログラム

※演習は個人での検討とチーム共有を組み合わせます。時間配分は討議の進み方に応じて調整します。

DAY 1 ［時 間］10:00～17:00

1 日本企業のAI活用・DXの成功率を上げるには

1 AI活用・DXの現状と本格展開の壁
2 成果を妨げる根本原因と顧客起点
3 変革を導く技術経営
4 組織文化と顧客体験の変革
5 経営と現場をつなぐDXの定着

2 トランスフォーメーション（変革）とは

1 DXとは何を意味するのか
2 AXとは何を意味するのか
3 DXとAXの違い
4 変革とは何を意味するのか

【演 習 1】自社の変革テーマを言葉にする

3 自社の課題・戦略の方向性を見出す

1 事例研究（DX・AXの成功事例）

【演 習 2】IHI事例を自社の変革に生かす

2 DXの５段階モデルと成功要件
3 自社のDXレベルを診断する

【演 習 3】自社は、DXのどの段階？

4 デジタル競争戦略の方向性を見出す

【演 習 4】自社のプロダクション・エコシステムのアイデアは？

【演 習 5】自社のコンサンプション・エコシステムのアイデアは？

【演 習 6】自社のデジタル競争戦略を描く

１日目のまとめと２日目への接続

１日目の到達目標

- AI活用・DXが本格展開に至らない要因を、顧客起点、内製化・技術経営、組織文化、経営の関与から説明できる。
- DXとAXの意味・相違を理解し、自社の事業・業務・組織・意思決定における構造的課題を整理できる。
- 成功事例とDXの５段階モデルで自社の現在地を診断し、顧客価値と競争優位につながる優先テーマ・戦略の方向性を描ける。



DAY 2 ［時 間］10:00～17:00

4 DX・AX活用を事業の成果につなげる（経営判断と評価演習）

1 検証の４段階と評価の考え方
2 事業成果・検証ナビの活用
3 需給・在庫をつなぐ経営判断・評価演習

【演 習 1】どの案を、どこまで試すか

【演 習 2】次の拠点へ投資するか

4 経営が実行すること
5 出典・参照資料

5 AXレベルを向上させる

1 AXの主要技術テーマ
　(1) 企業のAI内製化の実態調査
　(2) 主要技術３テーマを取り上げる意図
　(3) 生成AI
　(4) AIエージェント（事例紹介）

【演 習 3】自社の業務をAIエージェントと人の協働で変える

　(5) フィジカルAI
2 AX推進
　(1) AX推進（事例紹介）

【演 習 4】現場の挑戦を止める壁を取り除く30日アクション

　(2) AXの５段階モデル
　(3) 自組織のAIレベルを診断する

【演 習 5】自組織のAIレベルを診断する

6 結　論

到達目標の確認、自社で実行する判断と行動の振り返り

２日目の到達目標

- 問題・ソリューション・製品･事業の4段階に応じて証拠と指標を選び、事実・仮説・未確認事項を整理できる。
- 顧客・従業員・事業への成果、純便益、リスクを比較し、投資・継続・修正・停止と経営の支援条件を判断できる。
- 生成AI･AIエージェント･フィジカルAIの適用業務、期待成果、AIの権限と人の承認･停止条件を具体化できる。
- 自組織のAX成熟度と阻害要因を診断し、担当・期限・成果の確認方法を含む30日アクションを立案できる。

学習のつながり

１日目の「**成功条件と自社の戦略課題**」を、２日目の「**成果を確かめる判断**」と「**AI 活用・組織の実行**」へつなぎます。演習では互いの視点を生かし、判断の根拠と次に確かめる条件を明確にします。

持ち帰る成果

自社の変革テーマとDX成熟度の診断、データ活用・エコシステムによる戦略の方向性、経営判断と評価の記録、AIと人の役割分担、AX成熟度の診断と30日アクションを持ち帰ります。

